

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 6/8)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年6月7日 8時55分		平成24年6月7日 採取中止		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	-	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	-	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.51Bq/L、Cs-134が約1.3Bq/L、Cs-137が約1.6Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第二原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 6/8)

採取場所	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成24年6月5日 8時20分		平成24年6月5日 7時40分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	0.27	0.00	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	0.43	0.00	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.17Bq/L、Cs-134が約0.24Bq/L、Cs-137が約0.30Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海水核種分析結果 < 1/2 >

(データ集約: 6/8)

採取場所	請戸川沖合3km (T-D1) 上層		福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層		福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成24年4月5日		平成24年4月5日		平成24年4月5日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	90
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-	60,000
全	-	-	-	-	-	-	-
全	ND	-	ND	-	ND	-	-
Sr-89 (約51日)	ND	-	ND	-	ND	-	300
Sr-90 (約29年)	0.24	0.01	0.061	0.00	ND	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、4月6日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約0.68Bq/L, Cs-134が約0.91Bq/L, Cs-137が約1.0Bq/L, 全 が約21Bq/L, Sr-89が約0.1Bq/L, Sr-90が約0.02Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89, Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果 < 2/2 >

(データ集約: 6/8)

採取場所	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層						炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成24年4月13日						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	-	-	/	/	/	/	40
Cs-134 (約2年)	0.035	0.00	/	/	/	/	60
Cs-137 (約30年)	0.049	0.00	/	/	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	/	/	/	/	60,000
全	ND	-	/	/	/	/	-
全	ND	-	/	/	/	/	-
Sr-89 (約51日)	ND	-	/	/	/	/	300
Sr-90 (約29年)	0.020	0.00	/	/	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、5月17日公表。H-3, 全, 全については、5月30日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

H-3が約2.5Bq/L, 全 が約3.2Bq/L, 全 が約18Bq/L, Sr-89が約0.03Bq/L。

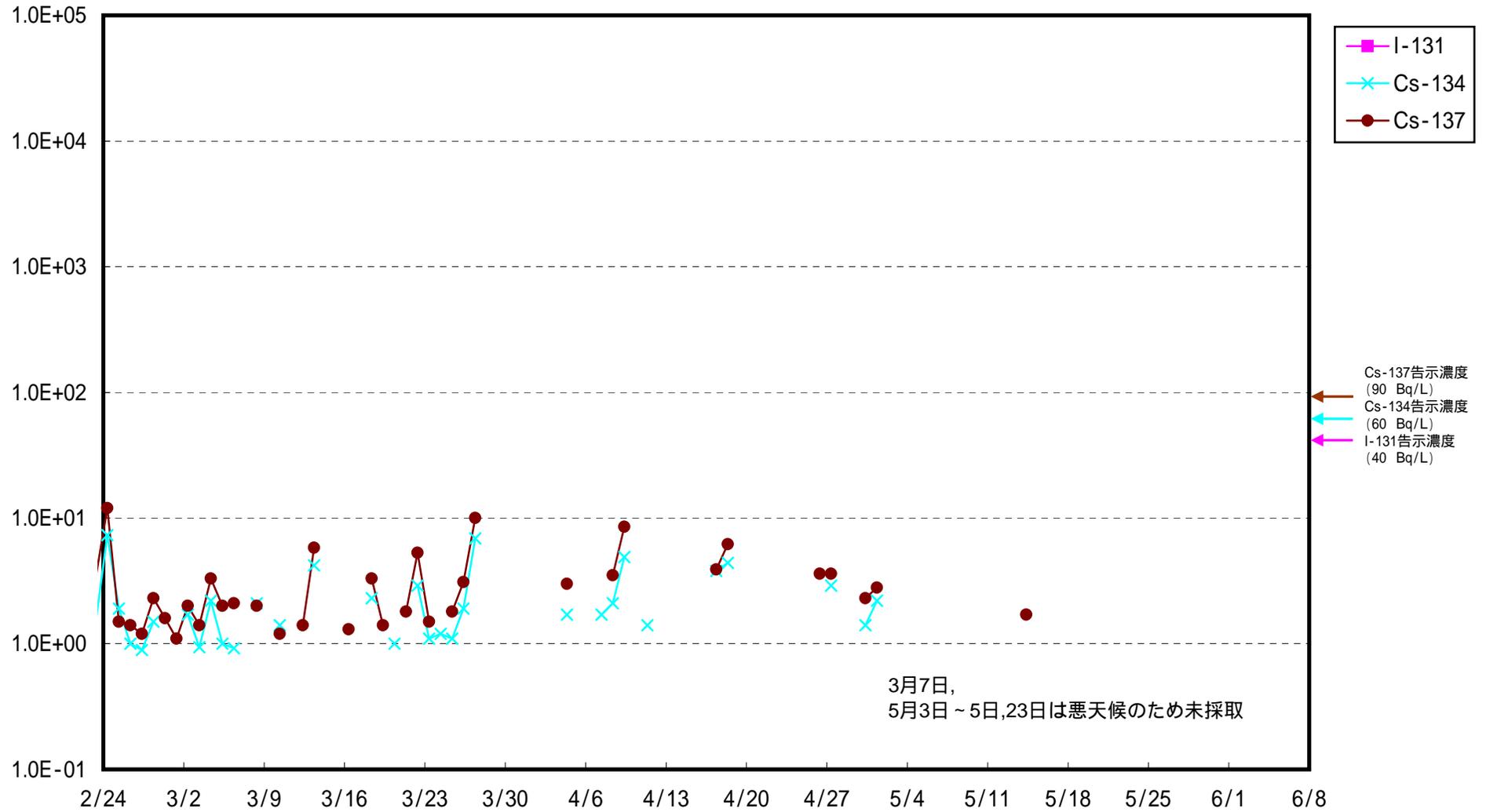
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89, Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

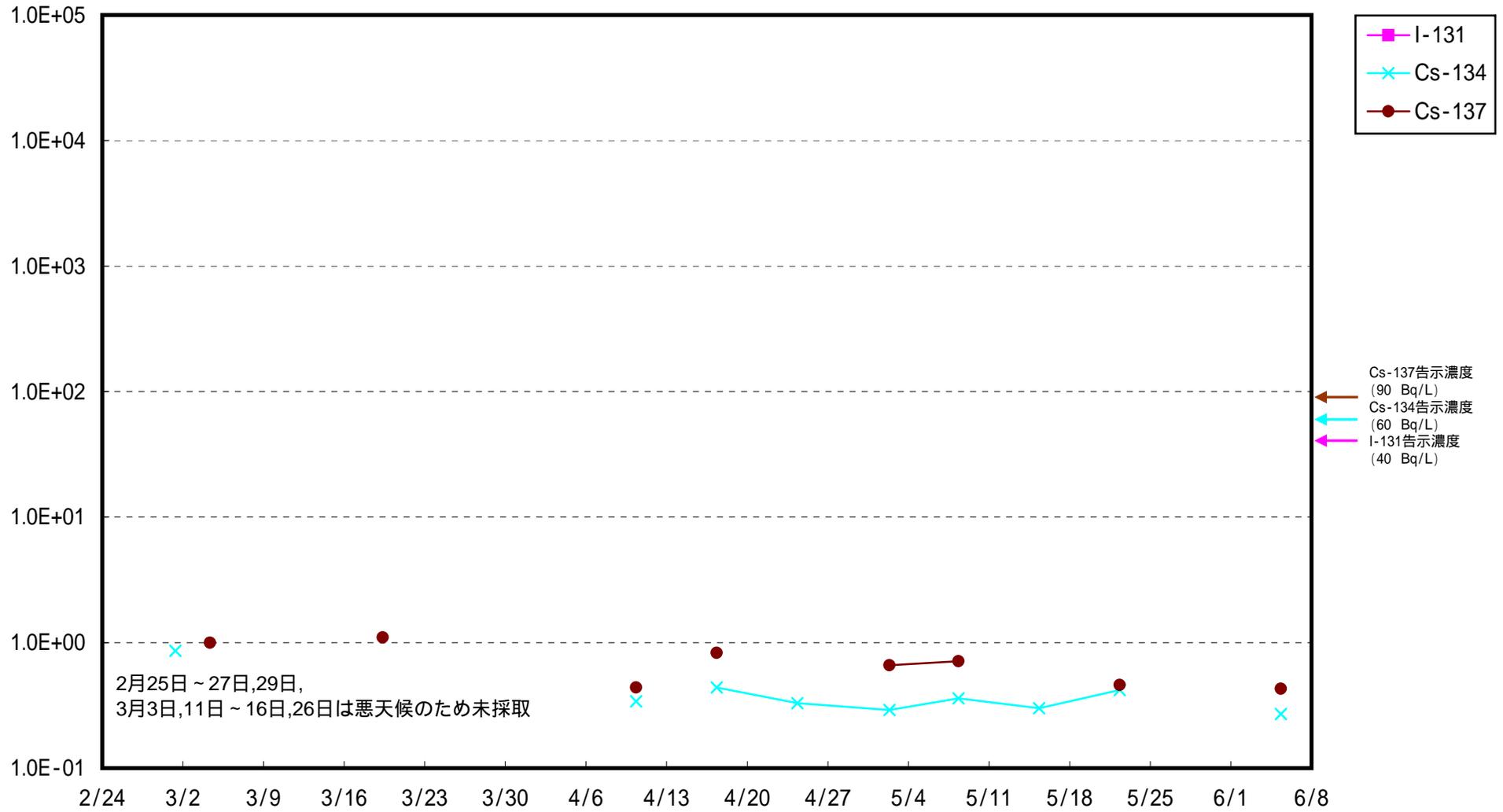
(評価)

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 北放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 岩沢海岸付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

